

阪神高速 14 号松原線大規模更新工事（喜連瓜破付近橋梁架替え工事）実施検討会

【設立趣意】

阪神高速道路は、1964 年の開業以来、半世紀にわたり関西の暮らしと経済を支える大動脈として皆様とともに歩んで参りました。「先進の道路サービスへ」を企業理念に掲げ、24 時間 365 日、メンテナンスに努めておりますが、現在、「道路構造物の老朽化」という深刻な課題に直面しております。高速道路を 100 年先も安全・安心・快適にご利用いただくために、「高速道路リニューアルプロジェクト」を立ち上げ、橋梁の架け替えなどを行う大規模な事業に取り組んでいるところです。

阪神高速 14 号松原線の喜連瓜破付近の P C 箱桁橋は、経年とともに支間中央部に想定を上回る垂下りが進行しているため、長期の健全性、耐久性を確保するために 2015 年 3 月に橋梁の架け替え事業として決定しました。

当該事業箇所は、密集市街地であり、橋梁の架け替えを行う場合、交通規制に伴う渋滞など沿道・近隣に多大な影響が生じることが予想され、その影響を最小限にとどめる施工手法と、それに伴う交通規制手法を検討する必要があります。検討条件となる高速道路ネットワークとして、2020 年 3 月に阪神高速 6 号大和川線が全線開通し、14 号松原線に対する迂回ネットワークが整備されたこともあり、交通規制手法については複数の案が考えられる状況となっています。

今般、当該橋梁の架け替えの施工手法、交通規制手法について検討を進め、複数案の比較整理を行ったことから、社会的影響を極力抑える手法・施策等について意見交換、調整を図る場として本検討会を設立するものであります。